

1 教育目標

(1) 本校の教育目標

確かな学力、思いやりの心、健康な体を身に付け、たくましく生き抜く生徒を育成する。

めざす生徒像

- ・心の温かみを感じる生徒
- ・自ら学ぼうとする気力のある生徒
- ・困難を乗り越える心と体力のある生徒
- ・夢や目標をもって進む生徒

(2) 経営方針

教職員相互の信頼、協力、同僚性と教職員の思いにより、創意と活力ある学校運営を図り、生徒にとって希望と充実感があふれる魅力ある学校づくり、家庭や地域から信頼される学校づくりを進める。

ア 生徒が意欲的に活動し、わかる・できる・身に付く・活用できる力を育てる授業に努める。

イ 学校行事・体験活動・道徳教育の充実を図り、それぞれの取り組みを関連させて、日々の生活に生かす心の教育を推進する。

ウ 自他の生命を大切にし、相手の立場に立って考えることができる生徒を育成する。

エ 夢の実現のために、目標に向かって努力する気力と体力のある生徒を育成する。

(3) 本年度の重点努力目標

ア 学習指導

○「主体的・対話的な学び」のもととなる生徒相互・生徒教師間の人間関係力を高め、学習意欲と学力の向上を図る。

○「学習のルール」の定着を図り、学ぶ姿勢や学習習慣を身に付けさせる。

○一人一台端末の活用とともに、個に応じた指導を充実させ、基礎学力の定着を図る。

○振り返り学習のできる場、自ら学習することのできる場、生徒同士が対話できる場、応用・発展的な内容を学習できる場等を設け、学習意欲と学力の向上を図る。

イ 生徒指導

○生徒相互の良い人間関係を築き、なごやかで規律ある集団をめざす。

○生徒理解に努め、具体的な場面で、「受容からの指導」を通して「ほめて育てる」ようにする。受容とは、まず相手の行動に着目するのではなく、心に寄り添うこと。

○「当たり前」の事を「当たり前」にを合言葉に、あいさつ・言葉遣い、時間を守るなどの基本的な生活習慣を身に付けさせ、人間関係や社会性の育成を図る。

○不登校生徒に対して、保護者や関係機関と連携を取りながら、組織的に取り組みを推進する。

○早期発見、早期対応を実行し、いじめのない学校・学級づくりを進める。

○生徒の思いを大切にしたい学級・生徒会活動や学校行事を行い、生徒自らの力で、つくり上げる喜びを実感させることを通して、生徒の自立を促すようにする。

ウ 進路指導

○「働く人から話を聞く会」「職業調べ」「マナー講座」「学科説明会」等の充実を図り、将来社会人となるための夢や、その目標実現に向けての努力の方向性が見出せるようにする。

エ 豊かな心を育てる指導

○読書活動の充実を図り、読書への意欲を高め、豊かな情操を育てる。

○道徳の時間において、生徒が自己を見つめ、自分の生き方について考えを深め、道徳的実践力を育成する。

○日本の伝統文化にふれる機会や国際理解教育を通し、多様なものの見方・考え方ができる生徒を育成する。

○福祉実践教室や各種のボランティア活動に進んで参加し、相互理解や共生の精神を培う。

○清掃活動(黙働)を通して、奉仕の精神を培う。

オ 健康教育

○「8020運動」「薬物乱用防止教室」「普通救命講習会」等を実施し、命の大切さを自覚し、健康で安全に生きるための体と心を育成する。

○運動の楽しさや厳しさを味わわせるとともに、体力の向上を図る。

○給食活動を通して、望ましい食習慣や食事のとり方、食生活のマナーを身に付けさせ、健康な生活を送るための基礎を育成する。

カ 信頼される学校づくり

○現職教育を充実させ、教職員一人一人が指導力を高めるとともに、果たすべき役割、実践の手だて・評価を明確にし、全校体制の指導を進める。

○学校公開・ウェブサイト・各種たよりの充実を図り、学校の情報を家庭・地域に発信するとともに、教育活動への意見・理解・協力を得る。

○小中学校が連携し、授業公開・研修会を行う中で小中一貫した子どもの育成を図る。

○学校運営協議会において、学校と地域・保護者が連携した教育活動を進める。

キ 持続可能な教育の質の向上

○質の高い教育を持続的に行うために、働き方改革にかかわる業務改善に努める。